

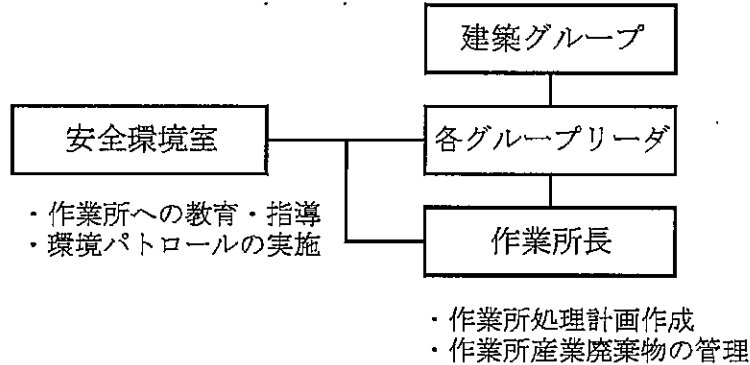
(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月6日	
埼玉県知事 大野元裕 殿	
提出者 住 所 さいたま市浦和区北浦和3丁目6番5号 氏 名 齋藤工業株式会社 代表取締役 齋藤 恵介 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 048-833-1555	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	齋藤工業株式会社
事業場の所在地	埼玉県さいたま市浦和区北浦和3丁目6番5号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	96億938万円
③ 従業員数	132人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 → 委託処理(破碎) → 再生利用 廃プラスチック類 → 委託処理(破碎・圧縮) → 再生利用・燃料使用・最終処分 ガラス・コンクリート・陶磁器くず → 委託処理(破碎) → 再生利用 金属くず → 委託処理(破碎・切断) → 再生利用 汚泥 → 委託処理(脱水・固化) → 再生利用 木くず → 委託処理(破碎) → 再生利用・燃料使用 紙くず → 委託処理(破碎) → 再生利用・燃料使用 繊維くず → 委託処理(破碎) → 再生利用・燃料使用 廃石膏ボード → 委託処理(破碎) → 再生利用・燃料使用 混合廃棄物 → 委託処理(分別・破碎・圧縮) → 再生利用・最終処分 石綿含有廃棄物 → 委託処理(直送) → 最終処分



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	1,402.513 t	t
	(これまでに実施した取組) 作業所への製品搬入の梱包材を極力削減するよう資材搬入業者と協議を行い、ゴミの発生を抑制する。 また発生する副産物は出来るだけ分別し、再使用する物は再使用し、再生可能な物は再資源化を図る。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	2,938 1,267 t	t
	(今後実施する予定の取組) 作業所への製品搬入の梱包材を極力削減するよう資材搬入業者と協議を行い、ゴミの発生を抑制する。 また発生する副産物は出来るだけ分別し、再使用する物は再使用し、再生可能な物は再資源化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類で、木くず・金属くず・コンクリートガラ・紙くずを分別している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類で、木くず・金属くず・コンクリートガラ・紙くずを分別している。環境パトロールによる指導を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1,402.513 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	489.230 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1402.513 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 作業所への製品搬入の梱包材を極力削減するよう資材搬入業者と協議を行い、ゴミの発生を抑制する。 また発生する副産物は出来るだけ分別し、再使用する物は再使用し、再生可能な物は再資源化を図る。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1,269 2,988 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	487 1,483 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,269 2,783 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>廃棄物の種類で、木くず・金属くず・コンクリートガラ・紙くずを分別している。</p> <p>環境パトロールによる指導を行う。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書(別紙-1)

埼玉県

令和5年5月31日

	産業廃棄物の種類	R4年度計画	令和4年度実績						令和5年度計画					
			全処理委託量 ＝排出量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への処 理委託量	認定熱回収業者への処 理委託量	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	全処理委託量 ＝排出量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への処 理委託量	認定熱回収業者への処 理委託量	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		
1	建設汚泥	3000.0	83.050	75.900	83.050	0.0	0.0	80.0	80.0	0.0	0.0			
2	廃プラ	40.0	25.725	25.725	25.725	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0			
3	紙くず	5.0	0.600	0.600	0.600	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0			
4	木くず	100.0	66.000	41.250	66.000	0.0	0.0	60.0	40.0	60.0	0.0			
5	繊維くず	3.0	0.120	0.120	0.120	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0			
6	金属くず	10.0	2.825	2.825	2.825	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0			
7	ガラス・陶磁器くず	10.0	3.000	3.000	3.000	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	0.0			
8	廃石膏B	30.0	22.692	22.692	22.692	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0			
9	その他がれき	30.0	51.356	51.356	51.356	0.0	0.0	46.0	46.0	46.0	0.0			
10	コンクリガラ	400.0	934.175	110.704	934.175	0.0	0.0	840.0	100.0	840.0	0.0			
11	アスガラ	100.0	57.912	0.000	57.912	0.0	0.0	52.0	0.0	52.0	0.0			
12	石綿含有(安定型)	20.0	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
13	石綿含有(管理型)	0.0	0.000	0.000	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
14	混合(安定型)	50.0	32.708	32.708	32.708	0.0	0.0	29.0	29.0	29.0	0.0			
15	混合(管理型)	200.0	122.200	122.200	122.200	0.0	0.0	110.0	110.0	110.0	0.0			
15	蛍光灯	0.0	0.150	0.150	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	合計	3998.0	1402.513	489.230	1402.363	0.0	0.0	1269.0	457.0	1269.0	0.0			